

長城ちやうじやう

汪わう

通じゆん

秦しん長城ちやうじやうを築きずて鉄牢てつろうに比ひす

蕃戎ばんじゆう敢あえて臨洮りんとうに逼せまらざる

焉いざんぞ知しらん万里ばんり連雲れんうんの勢いきおい

及およばず堯階ぎやうかい三尺さんじやくの高たかきに

【作者】王遵 生没年不明 晩唐の詩人。年少の頃より地方の小吏となつたが、後役人をやめ科擧に応じて進士に及第した。小吏の時代は、書物も借りなければならぬ程の貧乏であつたが、刻苦精励して人が気がつかないうちに博学多識の人となつていた。王遵は特に絶句に長けていて、ほとんど詠史諷世を主題としたものである。

【語釈】\*長城：万里の長城。秦の始皇帝が匈奴の侵入を防ぐために築いたもの。 \*鉄牢：鉄製の牢屋。 \*蕃戎：野蛮な異民族。匈奴。 \*臨洮：地名。現在の甘肅省岷県。秦の長城は西の起点がこの臨洮であつた。 \*逼：近づく。 \*焉知：しかしながら。だが。 \*連雲勢：雲に連なるほどの勢い。 \*不及：及ばない。 \*堯階三尺：堯の宮殿の階段は三尺しかなかった。質素なこと。

【通釈】秦の始皇帝が築いた万里の長城は鉄の牢獄に比べるほど堅かつた。それだから、匈奴も臨洮にまで近づくことはなかつた。だが、万里も連なつて雲に接するほどの勢いの長城も、あの古代聖王堯の宮殿の階段の三尺の高さに及ばないとは誰が知ろう。